

## 令和5年度県産材生産量について

### 1 要旨

本県では、令和3年度から「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、将来にわたって毎年40万m<sup>3</sup>を持続的に生産できる体制の整備に取り組んでいるところであり、この度、令和5年度の県産材（スギ・ヒノキ）生産量が確定したので報告する。

### 2 背景

年間40万m<sup>3</sup>の県産材を持続的に生産していくため、傾斜が緩く道から近い等の好条件を備え、持続的な林業経営を行うことが可能となる事業地の集約化や担い手の育成などの生産基盤の整備、森林に関する情報を関係者が共有して利活用するデジタル情報基盤の整備及び再造林を確実に実施するための技術基盤の整備に取り組んでいる。

### 3 概要

#### (1) 調査対象

県内における全ての素材生産業者90者と原木流通業者7者

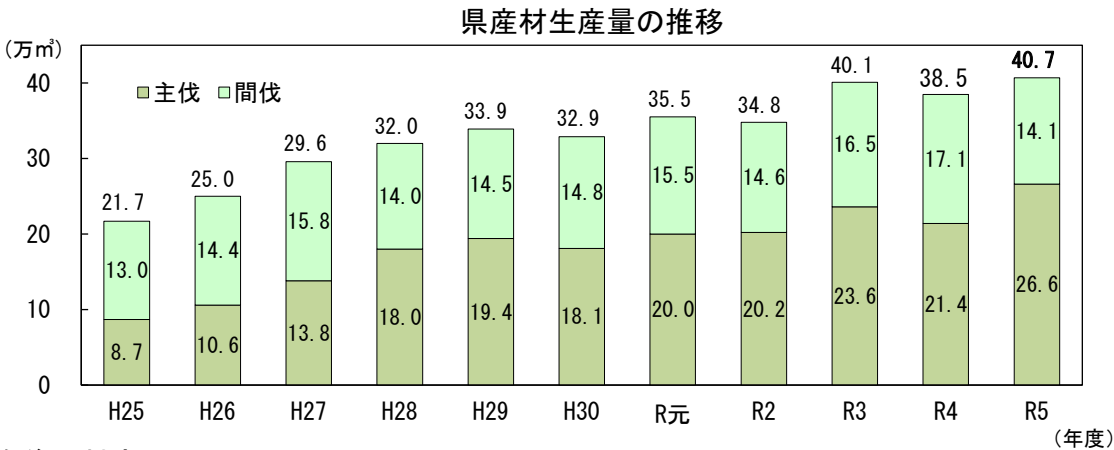
#### (2) 調査期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

#### (3) 調査結果

令和5年度の県産材生産量は前年度比106%の40.7万m<sup>3</sup>であり、過去最高の生産量となった。

増加した主な要因は、住宅着工戸数が前年よりも減少したものの、木材価格が前年より持ち直したこと、円安や海上輸送運賃の上昇等の影響により国産材への関心が高まり、県産材の需要に応じて主伐の生産が増加したことなどが考えられる。



#### (4) 今後の対応

国産材への関心の高まりを県産材の販路拡大を図る好機と捉え、引き続き、アクションプログラムにおける「森林資源利用フローの推進」や「森林資源経営サイクルの構築」に向けた取組を着実に進め、川上から川下までの県産材のサプライチェーンの強化を図る。